



かながわヘリテージマネージャー(KHM)協会 2022年度後半の主な活動

1) KHM養成講座の再開

・2009年度から2015年度まで神奈川県と建築士会が実施しその後中断していたヘリテージマネージャー養成講座を再開しました。まずは9月から座学講座がスタートし、年末までに受講後の小レポートを提出しました。小レポートの評価は、養成講座を共催している神奈川県建築士会に御願いし講評をしてもらいました。

・12月には古民家の実測の演習を川崎市立日本民家園の原家住宅にて実施しました。講師を横浜国大・大野先生に御願いし、実測と野帳作成のグループ演習を行いました。



・2023年度中に座学と演習の全講座を終える予定です。

・2015年の前回養成講座の中断後に、7年ぶりに新たな養成講座修了生が誕生し、2024年4月からヘリテージマネージャーとして活動を始める予定です。



2) 逗子での取り組み

・久木地区のS邸は、旧日本海軍池子弾薬庫建設に伴う強制移転のために、久木に移転した13軒が、現在も6軒残って家並みを形成しているうちの1つです。

・海岸沿いの別荘地区とは別の逗子の歴史を現在に伝える大切な景観として、この家並みの中心的な建物であるS邸を遺すために、所有者さんからの相談に乗るなどのお手伝いをしています。



3) 秦野での取り組み

・2022年度前半までに、ほぼ全域の存在調査を行いました。その中で特に注目した煙草乾燥小屋についてフォローしています。2013年の神奈川県近代化遺産(建造物)調査報告書では約200棟の存在が確認されていますが、現在どのくらい残っているのか、秦野市の文化財担当官の協力を得ながら、その活用状況とともに確認を始めています。



4) 新たな仲間

・KHM養成講座受講生の中から11名の方がKHM協会に準会員として入会されました。熱意ある若い世代の今後の活躍に期待しています。



5) 湘南邸園文化祭に参加

- ・2020年に続いて2回目の逗子での取り組みの報告会を、11月19日に原風景を生かすまちづくりの会と共催で、湘南邸園文化祭参加のイベントとして、逗子新宿の松汀園を会場に行い、21名の方が参加されました。
- ・2021年に登録有形文化財への申請支援を行った同じく逗子市新宿の旧正力家別邸の所有者にも登壇いただき、登録有形文化財を維持する工夫などをお話しいただきました。同時に旧正力家別邸の見学会や、新宿近辺のまち歩きを行いました。



6) 会員向けのスキルアップ講座

- ・会員が保全改修工事の設計監理をした磯子のM邸を、所有者のご厚意で使わせて頂き事前調査の実習を行いました。和洋館両方の造りを講師から解説を受けて、床下や天井裏も含めて実際に手に触れながら、専門用語と共に学びました。
- ・KHM養成講座の受講生である初級者とベテランの会員がふたり一組のペアになって、実測調査と野帳作成、平断面図作成までを2日間行い初級者とベテランが共にスキルアップする機会を設けました。



7) 箱根板橋「甘柑荘」での建物調査

- ・初代最高裁判所長官である三淵忠彦が昭和初期に別荘として建て、晩年を過ごした箱根板橋の「甘柑荘」は、現在所有者が熱意をもって維持管理されています。
- ・過去に建築的な調査がされていないこの甘柑荘について、KHM協会では保全活用に協力するために建物調査を実施しました。



■ 訃報 長島孝一さん

私たちの活動を牽引し、支えてくださった建築家 長島孝一さんが、2022年7月24日に逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げますと共に、長島さんが一貫して取り組まれた地域の原風景を生かすための活動を、私達KHM協会も今後とも継承して行きたいと思います。